

『フットケア研修』 研修会実施報告

日時 : 2019年12月13日

対象者 : 卒後5年目以上・介護福祉士

参加者数 : 49名

目的 : 下肢病変を起こすリスクの高い患者の適切なケアを学ぶ

<講師の紹介>

人工透析センター 主査

糖尿病重症化予防（フットケア）の研修を履修月1回、人工透析センター通院患者10名程度のフットケアに従事されています。



<内容>



今回の講義では、フットケアが必要な足病変の種類と原因や症状を具体的に学び、それに伴う主な検査と治療の基本的な知識を学習しました。更に日常行うフットケアの必要性や介入方法を学習し、日常ケアの重要性を改めて認識する機会となりました。各論では、足病変のリスク要因、症状別フットケア方法など、全てにおいて実践的で、臨床において即座に活用できる興味深い内容でした。受講生からは、「改めてセルフケアの必要性を感じる事が出来た」「フットケアが転倒防止や人間関係、信頼、ADL 拡大につながる事を学んだ」「個別性をもったケアが必要であり、その為には患者を

知ることが大切であることが理解出来た」、等の学びがありました。人工透析センターで行われているフットケアの場面や、実際のフットケアを行う映像もあり、とても参考になったと思います。フットケアを行う時間を作ることがなかなか難しい現状もありますが、フットケアが疾患全体に及ぼす影響を理解し、患者に関わっていけるよう取り組んでいってほしいと思います。